

『フリ』 作：ポチ子

『フリ』 作：ポチ子

何かしているフリをした。

本当は何もしていないけど、

それがバレたら怒られると思って、

忙しいフリをした。

周りには、

本当に何かやってる人や、

本当に忙しい人がいて。

その中で私だけ何もしていない。

バレなきゃいいと思っていたけど。

サボれるなら、

そっちの方が幸せだと思っていたけど。

そうでもないな、

なんて気づいた時にはもう手遅れだ。

何もない。

何もない。

仕方ないから、

開いたパソコンの前で、

広げた資料の前で、

考えたフリの頬杖をする。